



図書館だより



2021年10月号 NO. 383

北茨城市立図書館

茨城県北茨城市磯原町本町 2-5-16

TEL 0293-42-1451

10月になりました。図書館だよりをご覧の皆様、初めまして、きなこもちと申します。残暑も気が付けば終わりを迎え、秋の気配も色濃く、空気は肌寒くなりましたね。立ち並ぶ木々の青々としていた葉も、次第に紅く変わりつつあるこの頃です。

さて10月は様々な表現がされることで有名です。

一番有名なところだとやはり食欲の秋でしょう。皆さん必ず口に出したことのある言葉だと思います。由来は当然のように諸説あります。なのでこれといった面白い話が紹介できません。残念です。

気を取り直して、図書館としては特に肝心なのが読書の秋。10月27日からは読書週間が始まります。

室内で過ごすことが多く、中々思うように外出ができないことと思います。気分転換も兼ねて、秋らしい季節を感じさせる本や、普段とは違うジャンルの本を読んだり、家族や友達と本を読み合っ、感想を言い合ったりしてみるのもきっと楽しいですよ。

折角なので食欲プラス読書の秋らしく、料理に関する本をいくつか読んでみました。読んでいるといかにも自分が料理の名人になったような気になってしまい、意気込んで実践してみるわけですが、悲しいかな実力は伴わないのでした。

b y きなこもち



《 図書館カレンダー 》 は、休館日です。



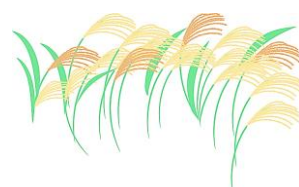
★ 開館時間 : 午前9時30分～午後6時 ★

★ 2021年10月 ★

★ 11月 ★

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				



★ YABOOKご紹介 ★

『元女子高生、パパになる』

一般書916ス 杉山 文野 / 著 文藝春秋

この本は、トランスジェンダーの著者がパートナーの女性との間に子どもを持ったことをきっかけに、LGBTQをめぐる社会への働きかけと共に家庭をつくるまでのプロセスをリアルに丁寧に描いた自伝エッセイです。

普通でありたいという願いとは裏腹に「性同一性障害の人」＝特別な人として注目され続ける彼（戸籍上女性）が、「変化の歩みを記録に残しておけば、いつか娘の支えになるのではないか。様々な理由で生きづらさを感じている人達へ、生きるヒントに繋がれば。」という思いを込めて執筆しました。

彼は生きる希望も持てずにいましたが、持ち前の明るさで前向きに困難を乗り越え、いつしか大切な仲間にもまれて想像すらできなかった幸せを掴むことができたのです。

改めて相手を想う想像力の大切さを考える機会となりました。

今までの常識を変えること、まだまだ世間の風当たりは強いと思います。

人が人として普通に生きる、そんな当たり前のことを自然に応援できる優しい社会になっていくことを願います。

by ワタタリカ

★ 図書館員のひと一言 ★

《 明るい話をしよう 》

明るい話をしようと思う。

最近、子どもの頃に夢中になった本の続編が、立て続けに出版されている。『十二国記』シリーズ然り、『巷説百物語』シリーズ然り。十何年ぶりに、もう一度、物語の世界に出会えて、とてもうれしい。あまりの懐かしさから、思わず、旧友に手紙を書いてしまった。

明るい話をしようと思う。

図書館は折しも臨時休館中だが、この機会を活用して、背ラベルの貼り換えを行った。するとどうだ！書架に統一性が生まれ、古い蔵書も、シャキンとよみがえったような気がする。心なしか、本たちもうれしそう。胸を張っているみたい。新たな本との出会いに幸あれ。

明るい話をしようと思う。

臨時休館中、予約の本を取りに来た利用者の方に、「図書館の再開を楽しみにしているよ」と言われて、心からありがたく思った。待っていてくれる人がいると、励みになる。

明るい話をしようと思う。

とにかく、明るい話をしようと思う。

そうすれば、いつか、きっと…。

by ミカゲ

◇ **ストレスをぶっ飛ばす言葉 心がスッキリする 100 のアドバイス** ◇

一般書 159ト 精神科医 Tomy / 著 興陽館

あるアンケートで日本人の65.3%の方がストレスを感じていると答えています。ストレスは職場、学校、家庭等、様々な場所での人間関係により発生しています。

ストレスを持つそんなアナタへ精神科医でありコラムニストでもあるゲイのTomyが、心がスッキリする100のアドバイスを書いていますので、この本を読んでいただきストレスを無理に抑え込まず、人生楽しく生きていただければと思います。 by 山女魚

◇ **象の皮膚** ◇

一般書 913.6 サト 佐藤 厚志 / 著 新潮社

この本は、アレルギーやアトピー性皮膚炎などの疾患に幼い頃から悩まされ、学校でのいじめにもあい、大人になってからも非正規で書店員として働いている女性が、かゆみやハラメントに耐え続けている生きづらい日常を描いた小説です。

男性小説家の作品ですが、自叙伝を書いているような、リアルさが伝わってきます。

by チャーミー

◇ **捨てないパン屋の挑戦 しあわせのレシピ** ◇

児童書 289タ 井出 留美 / 著 あかね書房

田村陽至(ようじ)さんの家は、おじいさんの代から続くパン屋でした。子どもころ、友だちみんなが田村さんをうらやましがって、「大人になったらパン屋になるんだろう」と言いました。田村さんはそれが嫌で、「おれの人生をかってに決めるな」「パンなんてこの世からなくなればいいのに」と思っていました。

そんな田村さんは今、何をしていますか。あんなに嫌だったパン屋をしています。売れ残りを出さない《捨てないパン屋》です。田村さんは、どのようにして捨てないパン屋になったのでしょうか。食品ロスについて考えさせられる本です。 by みーやん

◇ **スウィートホーム わたしのおうち** ◇

児童書 913ハ 花里 真希 / 著 片山 若子 / 挿画 講談社

クラスでも部活でも、誰に対してもキツイ言い方をしてしまう中学1年生の千紗。家では、部屋を片付けられない母と、いつも厳しく千紗の言うことを全く聞いてくれない父に、毎日いら立っている。どうしていつも、思い通りにならないのだろう。

そんな不満ばかりの千紗の毎日が、あることをきっかけに一変する。毎日、少しだけ、自分の部屋の片づけを始めたのだ。部屋がきれいになると、心もすっきりしたように感じて…。

by みーやん

◇ **コレットとわがまま王女** ◇

児童書 933ス ルイス・スロボドキン / 作 瑞雲舎

ある町に、あみものが上手で猫を飼っているコレットという女の子が住んでいました。

その町に、王女が休養するためにやってきました。コレットは王女を見たことがなかったので楽しみにしていましたが、町の町長でもあるコレットのお父さんは、町の人たちに王女から言われたとおりに、音を立てずに静かにするようと言いました。

でも、だんだんみんなの不満がつのってきて、この町は、どうなるのでしょうか。いつもの楽しくてにぎやかな町にもどるのでしょうか…。 by プリン

図書館のお休みについて ～ 小・中学生のみなさんへ ～

国の緊急事態宣言を受けての休館 8/20～9/30

今年の夏休みは、元気な小学生や中学生の（もちろん高校生も）みなさんが久しぶりに図書館に戻ってきたなあ、と喜んでいたのですが、県内の感染者が増えてしまい、図書館をお休みにしなければならなくなってしまいました。本当にごめんなさい。

お休みの間、図書館では、みなさんが便利になるように、古い図書館の本の分類を、新しい図書館の分類と同じにするため、約7,500冊分のラベルを新しくして、データも変えました。また、けんさく機で調べた本が、どこにあるのか、本棚が分かるように、一階の本全部に「本棚の名前」を入れました。本の場所が分かりやすくなったと思ってもらえればうれしいです。

9月中は学校に行くことができず、お家で勉強することになり、本当にたいへんな毎日でした。本を読んでいる時間はあったでしょうか？お家に読む本はあったでしょうか？

10月から図書館は開館です。図書館の本も、みなさんの家に行くのを首を長くしてまっています。夏休みの分もたくさんの図書館の本をお家に連れて行って読んであげてくださいね。

図書館長

『読書感想画』展示しています

市内小学校のみなさんの読書感想画を展示しています。

場所：図書館2階 展示期間：11月28日（日）まで



『おはなし会』中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、10月の「おはなし会」は、すべて中止といたします。11月以降の予定については、図書館ホームページ等でお知らせいたします。

おちば

与田 準一

おちば、おちば
きの はっぱ。

やまの こぎるが
ひろったら、
おもちゃの おかねに
するかしら。

ならの き、かしの き、
きの はっぱ。

もりの こりすが
ひろったら、
でんしゃの きっぷに
するかしら。

おちば、おちば、
はっぱっぱ。

